

第3学年 国語科学習指導案

平成30年10月31日水曜日 第5校時

四万十市立西土佐小学校

3年 児童数12名

指導者 ○○ ○○

場所 3年教室

【学習指導要領における指導事項（育成を目指す言語能力）】

【C 読むこと（1）ウ】場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

【（1）イ - （オ）】表現したり理解したりするために必要な語句を増し、また、語句には性質や役割の上で類別があることを理解すること。

【具体的な言語活動】

【C 読むこと（2）ア】物語や詩を読み感想を述べ合うこと（「つながるリーフレット」を作って感想を伝え合う。）

1 単元名 感想を伝え合おう

教材名 『サーカスのライオン』（東京書籍3年下）

2 単元について

○単元観

本単元では小学校学習指導要領・国語の第3学年及び第4学年「C 読むこと」の指導事項（1）ウ「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。」に対応して指導する。その際、「C 読むこと」の言語活動例（2）ア「物語や詩を読み感想を読み合うこと。」を具体化した、「つながるリーフレット」を作って感想を伝え合う。という言語活動を位置付けた。この言語活動を通して、叙述を基にして登場人物の性格や気持ちの変化を読む力を重点的に身に付けることをねらいとしている。リーフレット作成は場面と場面を繋いで人物の心情の変化を読むことをしやすくする、というねらいがある。

本教材は年老いてやる気もなくなり、寝てばかりいたライオンのじんざが男の子との出会いや交流を通して失っていた生きる希望、情熱を取り戻していく物語である。ライオンが大好きな男の子とその男の子の気持ちに伝えようとするじんざとの心の交流が描かれている。各場面のじんざの言動や情景描写を読み比べることでじんざの気持ちに変容していく過程を捉えやすい。また、今までの教材と違い登場人物の死が描かれており、児童からは多様な感想が出ることが予想される。じんざの行動や心情について感想を伝え合う活動にふさわしい教材であると考えられる。

○児童観

本学級は男子5名、女子7名の計12名で構成されている。全体的に明るく元気で活発なクラスで積極的に授業に参加する様子が見られる。一方、児童によっては学習への意欲や理解度に差があるため学習場面に応じて個別の支援が必要である。

1学期には「ゆうすげ村の小さな旅館」において、起きた出来事に注意して読み、叙述を基に場面の様子や人物の気持ちを想像することを学習している。その際に会話や行動から人物の心情を読んできた。しかし、場面の移り変わりや人物の行動や心情の変化を関係付けて読むまでには至っていない。原因としては、場面毎に人物の心情の変化を読むことはしてきているが前場面との繋がりから、人物の心情がどう変化しているのかを読み取ることをしていないことが挙げられる。そこで、人物の行動、心情の変化について前場面までの流れを考えながら読むという学習に取り組む必要がある。

○指導観

第一次では本単元の言語活動である「つながるリーフレット」を教師が作成したものを提示する。「ゆうすげ村の小さな旅館」での学習で身に付けた場面毎の様子や人物の心情の変化を読み取る力を確認した後、リ

リーフレットの紹介をし、中心人物の心情の変化が書かれていることに気付かせ、単元のゴールイメージを持たせる。その際、リーフレットを見て何が書かれているのか、それを書くために何を学んでいく必要があるのかを考え、本単元の学習計画をたてる。そして物語の大まかな流れをつかみ、各場面に見出しをつける。場面の移り変わりとともに変化するじんざの気持ちを読んでいくという単元の流れをおさえる。身に付ける力は、場面と場面の移り変わりを一つの流れとして捉え、人物の行動、心情の変化を読む力であることを確認する。

第二次では教材文「サーカスのライオン」を読み解いていく。全体の流れを把握しやすくするために、教室には全文を掲示し、場面を通して中心人物の気持ちの変化を読んでいく。中心人物の気持ちの変化が分かる叙述を中心に前の場面と読み比べながら気持ちの変化を考えさせリーフレットにまとめていく。第五場面ではじんざが亡くなったあとのライオン使いのおじさんや観客の気持ちを考えていく。第二次を進める間、並行読書を朝読書の時間や授業の最後の時間を使って行う。その後、児童一人一人が読んだ心情の変化をまとめたリーフレットを基に、発表しあう。

第三次では前次で身に付けた力を活かし、自分で選んだ本の登場人物の場面の移り変わりを通した心情の変化を捉え、リーフレットにまとめてグループで交流する。グループで発表する時には自分の選んだ本と照らし合わせながら説明する。

3 単元の目標

○「サーカスのライオン」を読み、中心人物の心情の変化を叙述を基に捉えることができる。

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・感想を伝え合うために文章を読み、登場人物の心情の変化を読みとろうとしている。	・登場人物の心情の変化を叙述を基に想像を広げながら読んでいる。【C(1)ウ】	・感想を述べる時の適切な言葉があることを知り、使っている。【伝国(1)イ(オ)】

5 指導と評価の計画 (全11時間)

次	時	○指導のねらい(目標) ・学習内容	評 価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
1	1	○学習の見通しを立てる。 ・今までに身に付けた力とこれから身に付ける力についておさえる。 ・リーフレットを見てゴールイメージを持つ。	◎			◎本単元で身に付ける力を考えている。	ノート 発表
	2	○学習の計画をたてる。 ・学習計画をたてる。 ・各場面の大まかな流れをつかみ、見出しをつける。	◎			◎本単元の学習の計画を立てようとしている。	ノート 発表
2	3	○第一場面のじんざの心情を読む。 ・じんざの様子、行動が分かる言葉からじんざの気持ちを想像する。 ・リーフレットにはじめのじんざについてまとめる。		◎		◎サーカスの中のじんざの様子や心情の様子を叙述を基に想像しながら読んでいる。	ノート 発表

	4	○第二場面とそれまでの場面を比べての心情の変化を読む。 ・じんざの様子、行動が分かる言葉からじんざの気持ちを想像する。 ・リーフレットにじんざの気持ちが変わったところをまとめる。		◎		◎第二場面で男の子と出会い、じんざの気持ちはどう変化したのかを読んでいる。	ノート 発表
	5 (本時)	○第三場面とそれまでの場面を比べて、じんざの心情の変化を読む。 ・じんざの様子、行動が分かる言葉からじんざの気持ちを想像する。 ・リーフレットにじんざの気持ちが変わったところをまとめる。		◎		◎じんざの行動や様子を手がかりに、男の子との交流を通して変わっていくじんざの気持ちを想像しながら読んでいる。	ノート 発表
	6	○第四場面とそれまでの場面を比べて、じんざの心情の変化を読む。 ・じんざの様子、行動が分かる言葉からじんざの気持ちを想像する。 ・リーフレットにじんざの気持ちが変わったところをまとめる。		◎		◎じんざの行動や様子を手がかりに、男の子を救い出そうとするじんざの気持ちを想像しながら読んでいる。	ノート 発表
	7	○第五場面とそれまでの場面を比べて、じんざの心情の変化を読む。 ・これまでのじんざの気持ちを整理し、どのように変わったのか話し合う。 ・リーフレットにじんざの気持ちが変わったところをまとめる。		◎		◎金色のライオンになるまでのじんざの気持ちの変化について、叙述に基づいて想像しながら読んでいる。	ノート 発表
	8	○リーフレットを見合う。 ・教材文に書かれている文章と照らし合わせながら、交流する。			◎	◎感想を述べる時の適切な言葉があることを知り、使っている。	リーフレット 発表
3	9 ・ 1 0	○自分の選んだ本でリーフレットを作る。 ・それぞれが中心人物の気持ちの変化をリーフレットにまとめる。		◎		◎じぶんの選んだ本を読みながら登場人物の心情の変化をリーフレットにまとめる。	リーフレット 発表
	1 1	○リーフレットを発表し合い、学習全体の振り返りをする。 ・本に書かれている文章と照らし合わせながら、発表する。 ・単元を通して身に着いた力を確かめる。	◎			◎単元を振り返り、身に着いた力についてまとめている。	ノート 発表

6 本時の指導（5／11）

(1) 本時の目標

○第三場面でのじんざの心情の変化を叙述に基づきながら読むことができる。

(2) 評価規準

【読】 じんざの行動や様子を手がかりに、男の子との交流を通して変わっていくじんざの気持ちを想像しながら読んでいく。

A：じんざの気持ちの変化をこれまでの場面にある叙述と比べて読み、変化した理由を言える。

B：じんざの気持ちの変化をこれまでの場面にある叙述と比べて読んでいく。

(3) 準備物

・本文の拡大コピー、挿し絵、リーフレット

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入 (5分)	1 見通し ・第三場面を音読する。 ・前時までの復習をする。 ・めあての確認をする。	・前場面までのじんざの心情の変化の移り変わりをまとめたものを見て確認する。	
	行動や様子を表す言葉に気をつけて、一場面から三場面のじんざの気持ちのへんかを読もう。		
展開 (25分)	2 解決活動 ○じんざの気持ちについて話し合う。(ペア) ○じんざの心情を想像しながら読む。 ・じんざがどんな気持ちだったのか考える。(全体) 目がぴかっと光った ◎ねむらないでまっていた 体に力がこもった ◎「……ようし、火の輪を五つに」 ・全体で共有する。	・予習ではじんざの気持ちの変化が分かる、行動や様子を表した文に線を引かせておく。 ・線を引いたところに付箋を貼らせ、同じ所に貼った者同士で意見交換させる。(意見交換し友だちの意見から自分に無かった考えを発見させる) ・気持ちの変化が分かるものに絞って、どんな気持ちなのかを考えさせる。 ・これまでの場面での叙述に戻って、変化している部分に気付かせる。	◎じんざの行動や様子を手がかりに、男の子との交流を通して変わっていくじんざの気持ちを想像しながら読んでいく。 (ノート・発表)

まとめ (15分)	3まとめ ○気持ちの変化の読み方をまとめる。	
	○リーフレットに気持ちの変化があったところと、その時のじんざの気持ちを書く。 ○振り返りを書く	<p>行動や様子が分かる言葉をいくつかむすびつけて読むと、じんざのやる気が高まっているという気持ちのへんかが分かる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちの変化があるところをまとめさせる。 ・これからどんなことに気をつけて読んだらいいのかについて書けている文を紹介する。

8 板書計画

十月三十一日(水)
 サークスのライオン

まとめ

行動や様子が分かる言葉をいくつかむすびつけて読むと、じんざのやる気が高まるという気持ちのへんかが分かる。

◎「……火の輪を五つに」

……一場面では二・三だったが、男の子が見に来るからやる気にもえあがっている。

◎ねむらないでまっていた

……男の子が会いに来てくれるのがうれしい。

目がぴかっと光った。

……くもっていた目が光ったから、やる気が高まったのが分かる。

挿し絵

めあて

行動や様子が分かる言葉に気をつけて一場面から三場面のじんざの気持ちのへんかを読もう。